

パーキンソン病の患者さんへ 治験のご案内

パーキンソン病患者を対象としたBIIB122の 有効性及び安全性を評価する第Ⅱb 相試験

当科では、パーキンソン病の症状の進行を予防したり、遅らせたりすることができる可能性のある新しい飲み薬の治験(※)にご協力いただける患者さんを募集しております。

※治験とは、新しいお薬を患者さんにご使用いただき、その有効性（薬の効果）と安全性（副作用）を調べる試験のことです。

- ✓ これまでの研究で、ロイシンリッチリピートキナーゼ2（LRRK2）と呼ばれる遺伝子を含むいくつかの原因遺伝子が分かっており、パーキンソン病を起こす原因となったり、パーキンソン病のリスクを高めたりすることが示されています。
- ✓ この治験で服用いただくお薬（BIIB122）は、脳内のLRRK2タンパク質の働きを調整するようデザインされており、その結果、パーキンソン病の症状の進行を予防したり、遅らせたりすることができる可能性があります。この治験薬は、日本および海外でまだ承認されていません。

治験の参加期間：最短で55週間（約1年2カ月）、最長で155週間（約4年）

来院回数：最低9回、最大17回来院

来院間隔：最初の4か月間は約1か月に1回ご来院いただきます。その後は約3か月に1回ご来院いただきます。

《治験にご協力いただける方》

- 年齢が30歳以上80歳以下の方
- 2年以内にパーキンソン病の診断を受けており、診断時に30歳以上であった方
- パーキンソン病のお薬（レボドパ製剤など）を服用したことのない方
または
パーキンソン病のお薬の服用期間が1年未満の方

上記以外にも基準がございます。詳細につきましては、主治医までご相談ください。

《お問い合わせ先》

脳神経内科 主治医までお問い合わせください。

また、本治験の情報は以下のWebページでもご確認いただけます。

順天堂大学治験情報検索システム 治験情報公開先：

<https://www.gcprec.juntendo.ac.jp/chiken/detail/1254>

